

2014年1月21日

インドネシアに透湿性フィルムの製造ラインを新設

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都千代田区 社長：姥貝 卓美）は、主に紙おむつのバックシートとして使用されている透湿性フィルム「KTF」において、需要の伸長が見込まれるインドネシアで事業展開するため、同事業として初めてインドネシアに製造ラインを設置することを決定しました。

「KTF」は、ポリエチレンに炭酸カルシウムを加えて延伸することにより微多孔を形成した透湿性フィルムで、水蒸気は効率的に通しつつ、水滴は通さないという特長を活かして紙おむつや生理用品などの衛生材料に用いられています。当社グループは、水島製造所（岡山県倉敷市）及び台湾の太洋製膜股份有限公司に「KTF」の製造拠点を構え、日本及び台湾を中心に販売してきました。

著しい経済成長を背景に生活水準が向上しているインドネシアでは、より快適でムレにくい紙おむつの需要が高まり、高品質な透湿性フィルムが求められています。そのような状況の中、当社は、ポリエステルフィルムの製造販売を行うグループ会社のPT. MC PET FILM INDONESIAが拠点を置くインドネシア メラクの工場建屋内に「KTF」の製造ライン（生産能力：2億4千万㎡/年）を新設することとしました。なお、本件に伴う投資額は約15億円で、2015年上期の営業運転開始を予定しています。

今後、当社は透湿フィルムの飛躍的な需要の増加が見込まれるアジアにおいて、さらなる生産能力の増強を検討してまいります。

【PT. MC PET FILM INDONESIAの概要】

本社 : インドネシア ジャカルタ
工場 : インドネシア メラク
事業 : ポリエステルフィルムの製造・販売
資本金 : 75 百万 US ドル (三菱樹脂 97.9%保有)

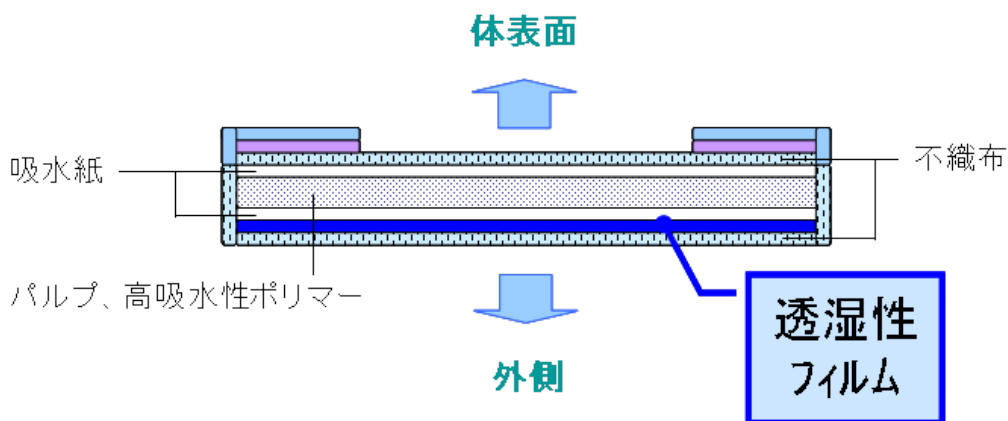
【写真：新拠点写真】



【写真：透湿性フィルム「KTF」】



【図：おむつの構成】



本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話：03-6748-7140